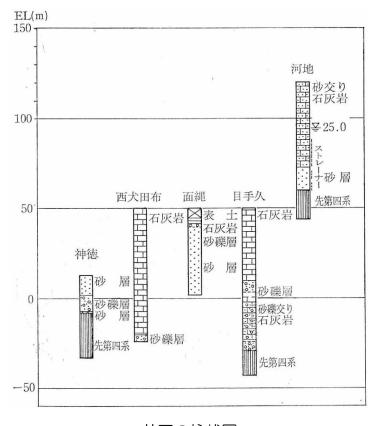


地形•地質

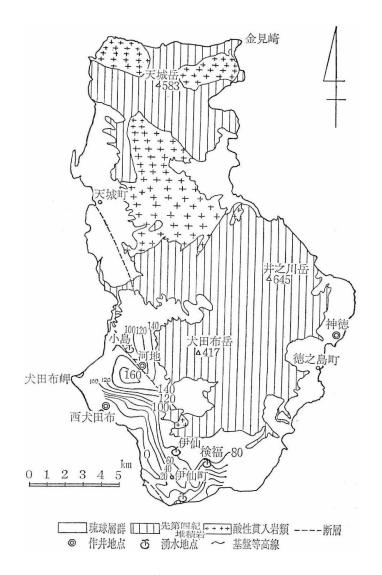
徳之島は奄美大島と沖永良部島の間に位置し、島の総面積は247.9km²です。徳 之島は島の骨格をつくる山地があり、海岸部では緩斜面や台地が発達します。段丘の 発達は南西部で著しく、幾段にも分かれた石灰岩台地が認められます。



井戸の柱状図

地下水

徳之島の周囲には、帯水層となる琉球層群が発達しますが、良好な帯水層となるものは石灰岩の優勢な部分に限られるようです。また島内には多数の湧水があります。



徳之島の水文地質図

出典 日本の地下水 (農業用地下水研究グループ,1986) (一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記のWebページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/ (日本地下水学会)